

環境経営レポート

令和7年2月22日

第73期

令和5.6.1～令和6.5.31

相良建設株式会社

目次



- 会社概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 対象組織（実施体制）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 環境経営理念・環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 環境経営目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 環境経営計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 環境経営教育年間計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 環境経営目標実績・グラフ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7-8
- 環境経営の取組結果と評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 地域社会への環境コミュニケーション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 環境に配慮した活動の事例 ICT施工の事例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 社外での活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 環境関連法規への違反・訴訟の有無・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 代表者による全体の評価と見直し・指示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14



会社概要



- 事業者名及び代表者名 相良建設株式会社 代表取締役 増田雄也
- 所在地 本社：静岡県牧之原市大江33番地2
- 資機材置場 資機材置場：静岡県牧之原市白井字濁沢7番地15
- 環境管理責任者 総務部総務課 課長 長野由香
- 連絡先

 0548-52-1515

FAX0548-52-5160

 webmaster@sgr-c.co.jp

 sagarakensetsu.com
- 事業内容 建設業（土木、とび・土工、石、鋼構造物、舗装、しゅんせつ、水道）
- 事業規模

資本金 3,000万円

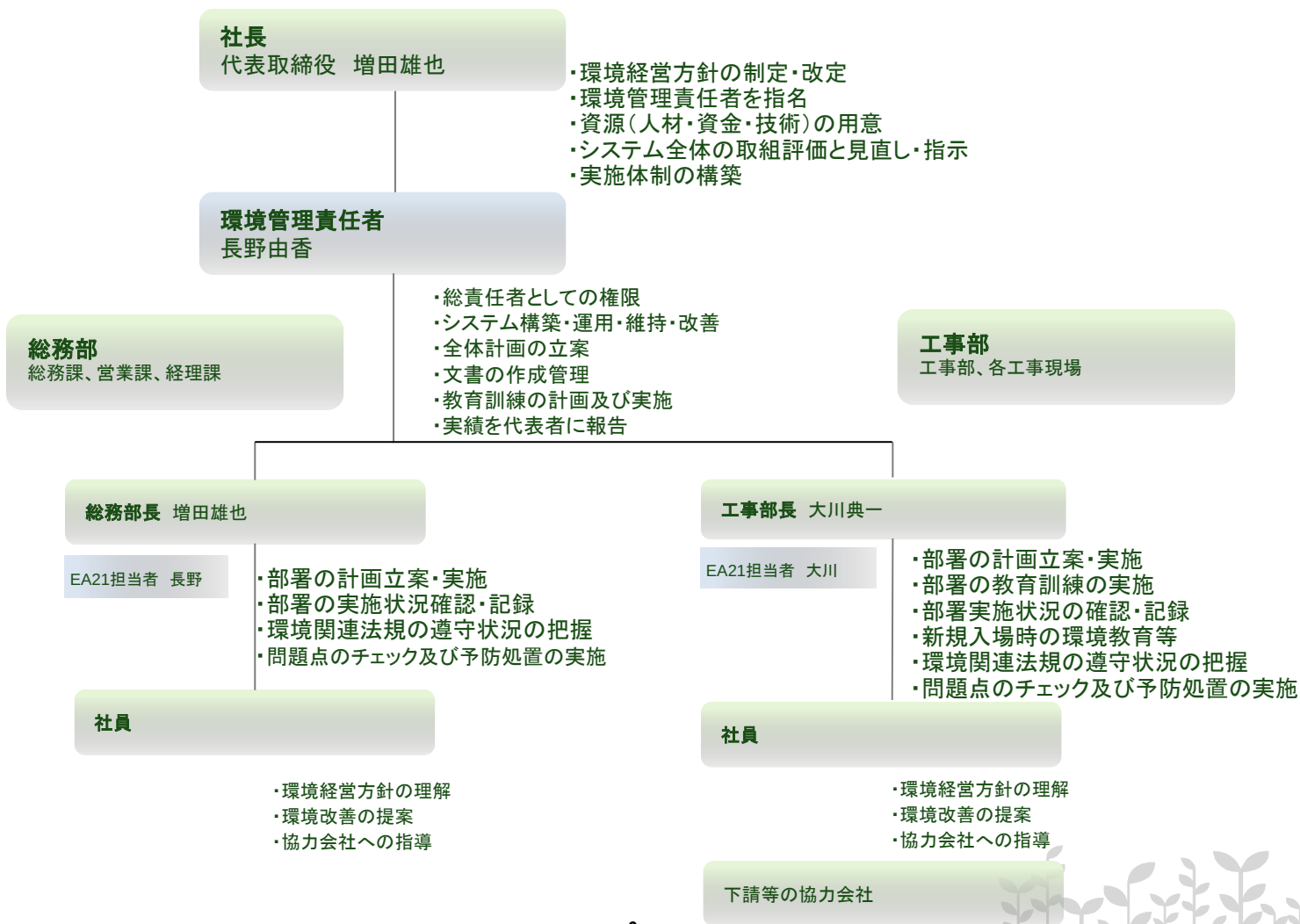
年間完工高	78,836万円
事業所床面積	362.9㎡
資材置場敷地面積	938.07㎡
倉庫床面積	297.47㎡
建設業許可	静岡県知事許可(特-3)第188号 令和8年5月28日有効
創業	昭和 7年11月 5日
設立	昭和26年12月28日
事業年度	期首6月 期末5月
従業員数	20名



対象組織図(実施体制)

会社組織での取得

令和5年6月1日現在



環境経営理念・環境経営方針



環境経営理念

相良建設(株)は全ての事業活動を通して環境に与える影響及び環境保全の必要性を深く認識し、建設業としての事業活動を通して、経営改善及び環境負荷の低減、持続可能な循環型社会の構築に貢献します

次の環境経営方針に基づき環境経営を推進し、より良い自然環境を未来に残していく企業を目指します

環境経営方針

環境経営目標を掲げ環境経営を計画・実施し、その結果を評価するとともに継続的な改善を図る

二酸化炭素排出量の削減の推進

環境に配慮した事業活動の推進

廃棄物排出量の削減、3Rの推進

水資源量の削減の推進

技術の継承及び新工法、新技術の研究導入の推進

地域貢献及び災害訓練活動の積極的な参加

環境関連法規制等を遵守する

自然環境に配慮し、省エネルギー・省資源、建設廃棄物のリサイクルの推進、及び抑制など、環境負荷の低減に努める

環境負荷低減活動ならびに環境に有益な取組を積極的に実践できるように、環境教育を推進し意識向上に努める

環境経営方針をすべての社員及び協力会社に周知する。また外部利害関係者に対しても公開する

制定：平成18年10月19日

改定：令和1年 6月 1日

相良建設株式会社

代表取締役 増田雄也



環境経営目標



環境目標を第72期を基に下記の様に、第73期～第75期の目標を定め推進する

全体 第73期（令和5年6月～令和6年5月）

※エネルギーは売上百万円当たりで換算

		単位	基準	第73目標	目標値	第74期目標	目標値	第75期目標	目標値	
			第72期							
					実績	R5.6～R6.5		R6.6～R7.5		R7.6～R8.5
二酸化炭素排出量		kg-CO2	195,492.62	193,537.69	-1%	191,582.77	-2%	189,627.84	-3%	
		kg-CO2/ 百万円	304.03	300.99	-1%	297.95	-2%	294.91	-3%	
エネルギー	購入電力1		kwh	98,136.50	97,155.14	-1%	96,173.77	-2%	95,192.41	-3%
			kwh/ 百万円	104.40	103.36	-1%	102.31	-2%	101.27	-3%
	ガソリン	ℓ	13,434.44	13,300.10	-1%	13,165.75	-2%	13,031.41	-3%	
		ℓ/ 百万円	14.29	14.15	-1%	14.00	-2%	13.86	-3%	
	軽油	ℓ	75,340.28	74,586.88	-1%	73,833.47	-2%	73,080.07	-3%	
		ℓ/ 百万円	80.15	79.35	-1%	78.55	-2%	77.75	-3%	
	灯油	ℓ	206.80	204.73	-1%	202.66	0%	200.60	-3%	
		ℓ/ 百万円	0.22	0.22	-1%	0.22	-2%	0.21	-3%	
	LPガス		kg	15.10	14.95	-1%	14.80	-2%	14.65	-3%
	産業資源化量		t	30.00	30.30	1%	30.60	2%	30.90	3%
産業廃棄物最終処分		t	400.00	396.00	-1%	392.00	-2%	388.00	-3%	
グリーン購入		品	28	29	1品	30.00	2品	31	3品	
環境に配慮した施工		実施率	84/84	84/84	実施率	84/84	実施率	84/84	実施率	
水資源		m³	維持管理	維持管理		維持管理		維持管理		

■ 地域貢献は現状維持とする

■ 今期第73期の短期目標は中長期目標である基準年の-1%で推進する

■ 環境に配慮した事業は施工実績や活動及び推進を総括して評価する

■ 水資源及び排水量の削減は環境負荷が少なく環境活動が定着したため環境目標、環境活動計画は作成せず実績を従来とおり把握し維持管理とする

■ 化学物質は使用していない

※二酸化炭素排出量は排出係数（0.459CO₂/kwh）
（令和4年のデータ）

※原単位は売上百万円当たりで換算



環境経営計画



令和5年6月1日～令和6年5月31日

※全員での取り組み

項目	活動内容	部 署	責任者	6.7	8.9	10.11	12.1	2.3	4.5	対応実施事項
購入電力使用量の削減	不必要な照明・空調・OA機器の電源を切る	各部署	各部署 責任者							ステッカーを貼る 1回/月フィルター清掃 購入時に検討
	節電表示をする	各部署	各部署 責任者							
	クールビズ、ウォームビズなど服装の工夫をしてエアコンの使用を抑える	各部署	総務部 責任者							
	エアコンは定期的に掃除	各部署	総務部 責任者							
	電化製品を購入する場合は省エネタイプの物を購入する	各部署	各部署 責任者							
ガソリン軽油使用量の削減	過積載をしない	工事部	工事部 責任者							朝礼・KY時に実施
	空ぶかしをしない	各部署	各部署 責任者							
	アイドリングストップ	各部署	各部署 責任者							
	定速運転を心掛ける	各部署	各部署 責任者							
	相乗り運動	各部署	各部署 責任者							
	車両・機械等は低燃費タイプを購入する	各部署	各部署 責任者							
環境に配慮した事業活動	環境に配慮した資材・工法の提案	工事部	工事部 責任者							購入時に検討する
	工期短縮に務める	工事部	工事部 責任者							事前打ち合わせ。施工計画時に資材工法を選定する
	外部からの提案、情報を取り入れ参考にする	工事部	工事部 責任者							事前打ち合わせ。施工計画時に資材工法を選定する
	ICT施工の導入	工事部	工事部 責任者							資料の収集、検討会を実施
										施工方法の情報収集、検討会を実施
一般廃棄物の排出量の削減 建設副産物等	分別の推進	各部署	各部署 責任者							分別ボックスを設置
	社内周知はメールによるペーパーレス化の推進	各部署	各部署 責任者							メールの確認
	コピー用紙の両面使用	各部署	各部署 責任者							回収ボックスを設置
	マニフェスト管理の徹底	工事部	工事部 責任者							再資源化計画の作成・実施・報告をする
	廃棄物分別の徹底	各部署	各部署 責任者							再資源化計画の作成・実施・報告をする
	資材の過剰梱包の削減	各部署	各部署 責任者							納入業者に依頼
	印刷時のトナーセーブと白黒印刷	各部署	各部署 責任者							通常プリンターの設定
地域貢献への取り組み	萩間川河川保護活動	各部署	各部署 責任者							1回/月実施する
	協力業者にも環境方針・環境活動の周知徹底を計る	各部署	各部署 責任者							新規入場者教育・朝礼で行う
	所属団体等の環境活動への参加	各部署	工事部 責任者							随時対応する
	その他ボランティア活動への参加	各部署	各部署 責任者							随時対応する

環境教育年間計画



令和5年6月1日～令和6年5月31日

上段…計画

下段…実施日

計画作成日 令和6年6月20日

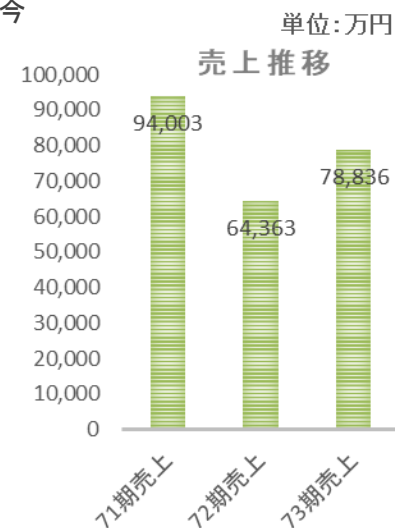
項 目		対象者	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
管理職教育	エコアクションの概要	各部署長 管理責任者	○	○	○			○		○				○
	取組結果の問題点等			20	20			18	20					20
	環境方針、目標、 活動計画			○	○									
	役割分担、責任、権限		○	○	○							○		
	環境改善の提案等			20	20						20			
一般教育	エコアクションの概要	全社員	○	○						○				○
	取組結果の問題点等			20					20					20
	環境方針、目標		○	○										
	環境改善の提案等			20					20					
	環境活動計画の内容		○	○			○				○			○
	影響及び改善利点			20							20			20
	役割分担					○			○					
	環境上の緊急事態訓練		19, 30					27						
法規教育	法規等の内容について	各部署の担当 者	○											○
	※改定が発生したら随時行う													20
	法規等の遵守及び手順について		○											
	※改定が発生したら随時行う													
専門教育・技能講習	有資格講習	QMS力量、認 識及び教育・ 訓練の対象者	○	○	○	○	○	○	○					
	技能講習		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	セミナー及び各種講習		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
				4	2,226	15					14		23	

環境経営目標実績

第73期(令和5年6月～令和6年5月)

二酸化炭素排出量は目標値に達成できた。実数値は目標に達している。購入電力が大きく削減できている、しかし工事内容により化石燃料の使用が増加しているため目標値を大幅に超えてしまった。長期にわたり工事現場までの走行距離があったことと城内での建設車両重機での使用が考えられた。今後は車両はタイヤ空気圧など適正を確認し走行するなど工夫したい。建設機械は低燃費な機種を選定し作業する。完成高は約20%ほど増加しているが全体的に削減できている為今後も一人一人がエネルギー削減を意識しながら取り組みたい

		単位	基準 第72期	第73期目標	目標値	第73期結果	結果値	取組結果
			実績	R4.6～R5.5		R4.6～R5.5		
二酸化炭素排出量		kg-CO2	195,493	193,538	-1%	230,585	19%	×
		原単位	304.03	300.99	-1%	292.62	-3%	○
エネルギー 化石燃料	購入電力	kwh	98,136.50	97,155.14	-1%	33,455.61	-66%	○
		原単位	104.40	103.36	-1%	42.46	-59%	○
	ガソリン	ℓ	13,434.44	13,300.10	-1%	16,979.39	28%	×
		原単位	14.29	14.15	-1%	21.55	52%	×
	軽油	ℓ	75,340.28	74,586.88	-1%	68,042.60	-9%	○
		原単位	80.15	79.35	-1%	86.35	9%	×
	灯油	ℓ	206.80	204.73	-1%	103.00	-50%	○
		原単位	0.22	0.22	-1%	0.13	-40%	○
	LPガス	kg	15.10	14.95	-1%	10.35	-31%	○
産業廃棄物	資源化率	%	30.00	30.00	1%	35.00	17%	○
	廃棄物最終処分	t	400.00	396.00	-1%	468.68	18%	×
環境に配慮した施工		実施率	84/84	84/85	実施率	48/52	実施率	○
水資源		m ³	維持管理	維持管理	維持管理	維持管理	維持管理	維持管理

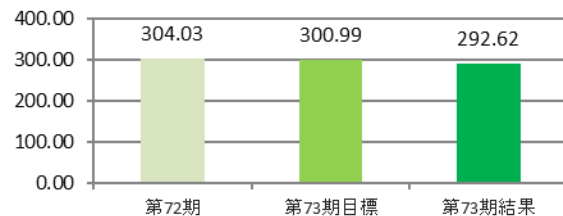


※原単位は売上百万円当たりで換算
 ※結果値(%)は目標/結果
 ※再生資源率の目標は30%と設定
 ※廃棄物最終処分の目標値を400tと設定

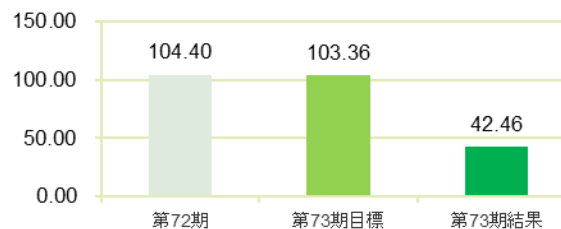
環境経営目標実績グラフ



二酸化炭素排出量 kg-CO₂/百万円



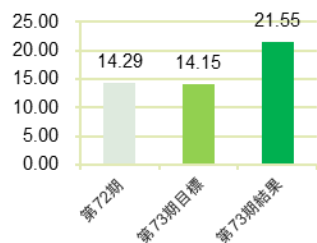
購入電力 kwh/百万円



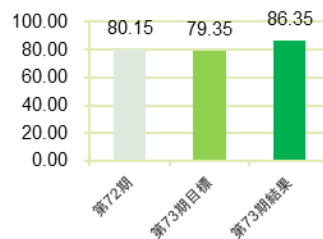
化石燃料の増加原因

- ガソリン 建設工事箇所が市外が多かったため走行距離が延びた
- 灯油 冬期時施工による

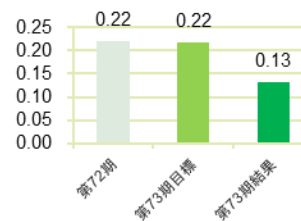
ガソリン l/百万円



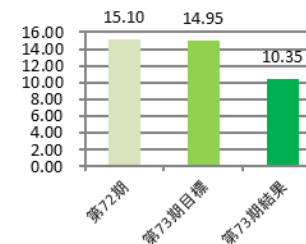
軽油 l/百万円



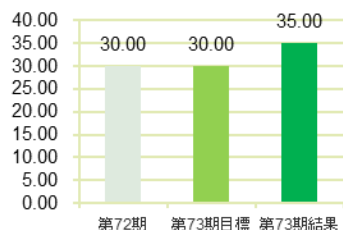
灯油 l/百万円



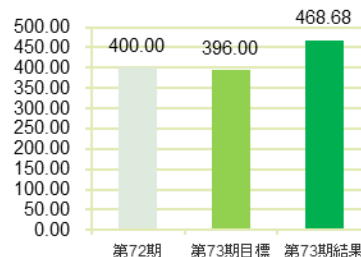
LPガス kg/百万円



再資源化率%/百万円



廃棄物最終処分 t/百万円



環境経営の取組結果と評価、次年度の環境経営目標及び環境経営計画



※ 次年度の環境経営目標はレポート内の第74期目標で実施し、経営計画は下記表内の「今後の取組」で改革する。

評価方法

◎良く出来た、○ほぼ出来た、△多少出来た、×ほとんど出来なかった

項目	活動内容	取組結果	今後の取組
購入電力使用量の削減	不必要な照明・空調・OA機器の電源を切る	○ PCをつけたままの帰宅が多いので注意した	継続して実施する
	節電表示をする	◎ ステッカーを貼る	継続して実施する
	クールビズ、ウォームビズなど服装の工夫をしてエアコンの使用を抑える	◎ 作業着、女子制服をポロシャツにした	継続して実施する
	エアコンは定期的に掃除	◎ 1回/3ヶ月実施	継続して実施する
	電化製品を購入する場合は省エネタイプの物を購入する	◎ 購入時に検討した	継続して実施する
ガソリン軽油使用量の削減	過積載をしない	◎ 朝礼・KY時に指導した	継続して実施する
	空ぶかしをしない	◎ 朝礼・KY時に指導した	継続して実施する
	アイドリングストップ	○ 朝礼・KY時に指導した	必要車両のみとする
	定速運転を心掛ける	◎ 朝礼・KY時に指導した	継続して実施する
	車両・機械等は低燃費タイプを購入する	◎ 購入時、レンタル時に検討した	継続して実施する
環境に配慮した事業活動	環境に配慮した資材・工法の提案	◎ 事前打合せ、施工計画時に検討する	継続して実施する
	工期短縮に務める	◎ 工期内完成	事前打合せ、施工計画時に検討する
	外部からの提案、情報を取入れ参考にする	◎ 外部への呼びかけや新製品の情報を取入れた	事前打合せ、施工計画時に検討する
	ICT施工の導入	◎ ICT施工計画書作成、実施した	事前打合せ、施工計画時に検討する
一般廃棄物の排出量の削減	分別の推進	○ 相変わらずなんでもポイ捨てるのでその都度指導	定期的に呼びかける
	社内周知はメールによるペーパーレス化の推進	◎ メールで送信	定期的に呼びかけをする
	コピー用紙の両面使用	◎ 裏紙専用ボックスを設置した	継続して実施する
	印刷時のトナーセーブと白黒印刷	○ 声掛けをすることでやや実施できた	継続して実施する
建設副産物等	マニフェスト管理の徹底	◎ 再資源化計画の作成・実施・報告をする	継続して実施する
	廃棄物分別の徹底	◎ 再資源化計画の作成・実施・報告をする	継続して実施する
地域貢献への取り組み	萩間川河川保護活動	◎ 1回/月実施	継続して実施する
	協力業者にも環境方針・環境活動の周知徹底を計る	◎ 新規入場者教育・朝礼記録で指導した	継続して実施する
	所属団体等の環境活動への参加	◎ 随時参加した	継続して実施する

地域社会への環境コミュニケーション



■ 地域学習への協力

- 活動箇所 相良須々木海岸工事
- 主催 牧之原市立相良中学校 令和6年5月15日
- 学生2名が地域学習の一環としてCADデータの作成、施工状況の体験
- 建設業に関する質疑応答に対応し建設業の魅力を説明



■ 除草・ごみひろい活動

- 活動箇所 (国)150号線バイパス
主催 牧之原市建友会 令和5年8月23日
- 除草作業及びごみひろい活動を行った



■ 萩間川美化運動

- 活動箇所 二級河川萩間川湊橋～水道橋(左岸)L=110m
- 主催 あいけん萩間川を守る会 全社員 1回/月
- 住民の憩いの場として景観整備、萩間川をきれいに保つ
- 萩間川を後世に美しいまま残すための美化活動



環境に配慮した活動の事例

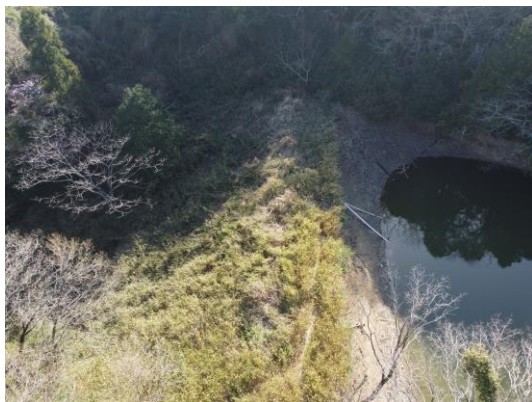


ICT施工

- ICT施工の活用 下記の5項目で合計3件のICT施工実績
- 工事名 令和4年度ため池群萩間川地区土沢池堤体改修 5 工事
- 発注者 静岡県志太榛原農林事務所
- 工期 令和5年3月～令和6年1月

施工箇所 牧之原市白井地内

着手前



ICT施工中



完成



- ICT建機による施工
- バックホウ 1 台 マシンコントロール RTK-GNSS方式
- 工期短縮 施工効率の向上
- 高度技術による正確さの確保、品質確保
- 人材不足の解消、若手人材の確保



社外での活動



災害時対応 牧之原市協力体制強化

■ 建設重機とドローンの操作指導

令和5年1月実施 インフラ復旧するため市と協力体制の強化を目的とする

令和5年度(12月3日)牧之原市地域防災訓練 建設班 計画書(詳細版)

RS.11.20作成

- 防災メールの受信により所定の場所に参加すること、併せて、連絡網により電話連絡も実施。
- 連絡網最後の人は、班長に報告(連絡のつかなくなった人の確認)
- 班長は、連絡状況を班長に報告
- 服装 防災服・ヘルメット・長靴(所定の参加場所に到着後、防災服を着用する)
- 参加後、ホームブレイクの移動、班の参加場所へ移動
- 班長・専門職は、本部連絡終了後、訓練状況の把握
- 池田・藤田・西川は、本部会議傍聴。終了後、訓練会場へ

機原支部	相良支部
メールにより連絡網あり機原支部に集合 班員が揃ったところで、相良支部へ各自移動	メールにより連絡網あり消防署に集合 班員が揃ったところで、相良支部へ各自移動
訓練内容	
1. 情報伝達訓練	
9:00 地震発生時のサイレン後、建友会の連絡担当者や情報伝達訓練を実施(伝達文は別添のとおり)	
※機原担当 大石・乙黒・伊藤	
※相良担当 山口・中嶋・鈴木	
2. 水門閉鎖点検	
9:30 情報伝達訓練終了後、水門・遮断の点検を実施する。	
(機原班) 静波海岸の陸間(2~4号ゲート)及び、堀切川、大瀬川、ラムネ水門の開閉訓練	
スベニアベース2534 大石・乙黒・伊藤	
(相良班) 相良地区の陸間(相良2・4号、片浜12号)及び串川、種民川、大久保川水門の開閉訓練	
ワゴンR0676 山口・中嶋・鈴木	
水門閉鎖点検終了後、さがらサンビーチ訓練会場へ	
3. 土嚢作成・設置訓練	
建友会の指導により、正しい土嚢の作成・設置訓練を実施する	
会場 さがらサンビーチ	
訓練に参加する職員は相良支部から各自訓練会場へ移動	
9:00 受付開始 参加者の確認をする	
9:20 閉会式(建設機械操作訓練と合同) 司会:池田 あいさつ 建友会 植田会長	
9:30 訓練開始	
3班に分かれて訓練を始める	
講師 建友会○名 1班 消防団 本部員2名 1, 4, 7, 10分間 建設・建築班 清水秀・本杉・島原・植田	
講師 建友会○名 2班 消防団 本部員4名 2, 5, 8分間 建設・建築班 渡間・清水剛・玉田・池田拓	
講師 建友会○名 3班 消防団 本部員4名 3, 6, 9分間 建設・建築班 西川・中島・松浦・市川	
10:45 片付け	
閉会式(建設機械操作訓練と合同) 司会:池田 講師:建友会 植田会長	
解散	
4. 建設重機・ドローン操作訓練	
建友会の指導により、建設重機・ドローンの操作訓練を実施する	
会場 さがらサンビーチ	
市所有の建設重機(バックホウ)をさがらサンビーチへ運搬(増田康・増田光)	
8:15 訓練に参加する職員は相良支部から各自訓練会場へ移動	
8:45 受付開始 参加者の確認をする	
9:20 閉会式(土嚢作成設置訓練と合同) 司会:池田 あいさつ 建友会 植田会長	
9:30 訓練開始	
3班に分かれて訓練を始める	
講師 建友会○名 重機 1班 増田康・伊藤・杉村・加藤伸・加藤守・吉村・尾高 ※吉村はドローン訓練と合わせて実施	
講師 建友会○名 重機 2班 西井・倉科・増田太・田中・伏見・永田・藤田 ※増田太はドローン訓練と合わせて実施	
講師 建友会○名 重機 3班 大石・田村・長瀬・若田・増田光・大栗 ※田村はドローン訓練と合わせて実施	
講師 建友会○名 ドローン班 石川・遠藤・田村・増田太・吉村・増田太・吉村は重機操作訓練と併せて実施	
10:45 片付け	
閉会式(土嚢作成設置訓練と合同) 司会:池田 あいさつ 建友会 植田会長	
11:00 解散 ※市所有の建設重機(バックホウ)を牧之原消防署へ運搬(増田康・増田光)	
建友会依頼事項	
・現地本部(※2名、いずれ12回 等)	
・バックホウ2台(掘削・埋め戻し作業)	
・瓦機(重機操作による除去)、倒木	
その他	
建友会役員 集合時間	9時00分 会場集合
連絡管理訓練	司会 池田
	副会 植田
	講師 植田

※11:50訓練終了予定なので、それまでに作業に終わらせてください。



牧之原市種との
建設重機及びドローン操作訓練



環境関連法規への違反・訴訟の有無



- 環境関連法規等の遵守状況（詳細は別紙「環境関連法規等の遵守状況のチェックリスト」を参照）
- 当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反・訴訟等はありませんでした

	法規制等の名称	適用項目	状況
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物分別排出 適正な収集運搬・処分業者との委託契約書 委託契約書の保管(5年間) マニフェスト管理 マニフェスト保管(5年間)	年間総量の確認 遵守
2	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 ※建設リサイクル法	分別解体等 再資源化等の促進 再生資源の利用 分別解体等の計画の作成及び届出 再資源化等が完了した時点での記録の届出	遵守
3	建設副産物適正処理推進要綱	「再生資源利用計画」 「再生資源利用促進計画」の作成・実施状況の記録	遵守
4	資源に有効な利用の促進に関する法律	原材料の使用の合理化 再生資源・再生部品の利用促進 使用済み物品・副産物の分別回収の促進	遵守
5	騒音規則法	特定施設設置の市町村への届出 特定建設作業の市町村への届出	遵守
6	振動規制法	特定施設設置の市町村への届出 特定建設作業の市町村への届出	遵守
7	浄化槽法	設置・廃止の届出 浄化槽法定検査第11条 保守点検の実施	遵守
8	環境基準法	公害の防止、自然環境を保全する措置	遵守
9	地球温暖化対策の推進に関する法律	温室効果ガス排出抑制措置	遵守
10	生物多様性基本法	生物の多様性の保全及び持続可能な利用	遵守
11	フロン排出抑制法	簡易点検	遵守
12	静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	廃棄物の減量と適正処分 実地確認	遵守
13	牧之原市環境基本条例	廃棄物の減量と適正処分	遵守



代表者による全体の評価と見直し・指示



■ 日付 令和6年12月9日 代表者 増田雄也

■ 対象期間 第73期 令和5年6月1日～令和6年5月31日

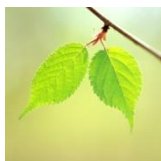
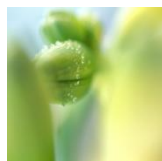
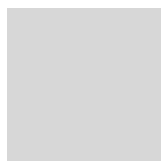
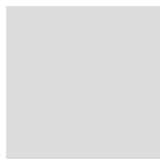
■ 評価・見直し（見直し関連情報を含む） (○問題無い、△一部見直しが必要、×大きな見直しが必要)

環境経営方針	○
対象組織	○
環境経営目標	○
環境経営活動計画及び環境教育年間計画	○
環境経営目標実績	○
環境経営活動計画の取組結果の評価	○
環境関連法規への違反、訴訟の有無	○
環境に関する苦情・要望等の有無	○

■ コメントおよび指示等

弊社は年々環境負荷軽減の意識は高まっていると感じます。「生活」を司る建設業は、私たちにとってなくてはならない産業です。だからこそ、持続可能な未来に向けて脱炭素化を推し進めることはとても重要です。建設業界がカーボンニュートラルに取り組むことは、未来の環境に貢献し、私達の社会をさらに住みよくすることにほかなりません。持続可能な社会へ貢献する企業となるよう更なる歩みを進めていきたいと思います。





SDGs行動宣言 相良建設 株式会社

2023年4月25日

わが社は、企業活動を通じて、社会課題の解決に取り組み、SDGs達成に貢献しています。

項目	関連するSDGsのゴール	SDGs達成に向けた取組
地球温暖化への取組	13 気候変動	エコアクション21取得済。次世代への環境教育。川、山を流すため、月1回の地味河川清掃活動実施。建設現場、社員車のハイブリッド化。窓紙、パレット等に再生材の木材使用。
ワーク・ライフ・バランス	5 性別平等、8 体面な労働、9 産業と労働者の持続可能な成長	女性活躍推進法に基づく女性活躍推進計画の策定。社員に対する働き方に関する研修の実施。社員に対する働き方に関する研修の実施。社員に対する働き方に関する研修の実施。
責任ある企業行動	17 パートナーシップ	社会貢献活動の実施。社会貢献活動の実施。社会貢献活動の実施。社会貢献活動の実施。社会貢献活動の実施。

当社は、建設業を通じて次世代に向けた地域発展、インフラを支え暮らしやすい街づくりを目指し、地域社会と共に成長していきます。また、脱炭素に向け環境に配慮した施工、持続可能な循環型社会構築、次世代を担う人材づくり、男女共同参画社会づくりなど一人一人がワークライフバランスを周り、社員全員で支えあえる企業を目指します。

